



ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2025 年 4 月 第 31 号

平山小学校の皆さんこんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

ナミビア通信第7号で、ナミビアにある世界一を紹介しましたが、ナミビアには世界第二位のものもいくつかあります。ナミビア通信第1号で紹介した人口密度の低さもその一つですね。そして実は、ナミビアには世界第二位の大きさを誇る溪谷「フィッシュリバーキャニオン」があります。世界一大きなアメリカの「グランドキャニオン」は日本人にもよく知られている溪谷だと思いますが、まさか第二位がナミビアにあるとは知らなかった方も多いのではないかと思います。私もナミビアに来る前は全く知りませんでした。先日、その「フィッシュリバーキャニオン」へ行ってきました。大迫力の絶景を自分の目で見た時の感動は忘れられません。今日は、そこで見たものや学んだことを紹介したいと思います。

※公園内に書かれていた説明によると、溪谷のサイズ（深さ、長さ、幅、容積）の測り方（正確に定義されていない）によって全体的な大きさは異なるそうです。しかし、ユネスコの公式ホームページやその他の様々な情報源では「米国のグランドキャニオンに次ぐ世界第二位の大きさの溪谷」と書かれているため、この記事でも世界第二位として書かせていただきました。（参考：[Fishriver Canyon – UNESCO World Heritage Centre](https://whc.unesco.org/en/locations/fishriver-canyon/)）

フィッシュリバーキャニオン

①どこにあるの？どうやって行くの？

フィッシュリバーキャニオンは、ナミビアの南部に位置しています。首都のウィントフックから南へ約90kmのレホボス(Rehoboth)という町を通過し、南に約180km行くとマリエンタル(Mariental)という町があります。さらに約230km南下するとキートマンスフープ(keetmanshoop)という町に着きます。そこから舗装されていない道路で約180km進むとようやくフィッシュリバーキャニオンに到着します。

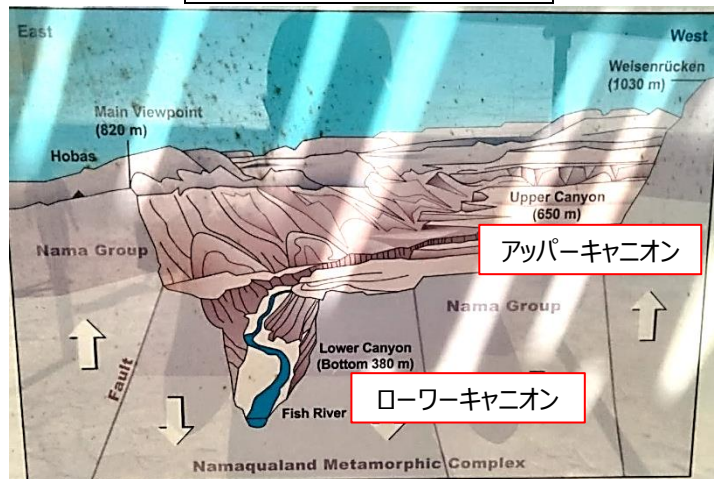
この溪谷は「アイアイス/リヒターズフェルト トランスフロンティアパーク」というナミビアと南アフリカにまたがる公園の中にあります。もともとこの公園は1968年に「アイアイス ホットスプリングス ゲームパーク」としてナミビアで創設されました。そこから様々な場所が公園の一部として追加され、2003年に南アフリカの公園と合併したそうです。



② どうしてこんな溪谷ができたの？

右の図を見るとフィッシュリバーキャニオンは、アッパーキャニオンとローワーキャニオンの2段階の作りになっていることがわかりますね。約6億5千年前の地殻変動により大きな地殻の塊が断層に沿って沈下し、図の真ん中あたりに見られる平らな部分（アッパーキャニオン）が形成され、そこをフィッシュリバーという川が流れていました。この平面はかなり硬かったため、川の水の流れが下方方向に浸食することができず、横方向への浸食が行われ、結果的に横方向に大きく広がっていったそうです。その後、氷河期に氷河が流れたことや、ゴンドワナ大陸の分裂で大陸の一部が上昇して川の勾配（傾き）が急になり流れが速くなって浸食力を増したことで、それまで硬くて削られなかった深部の部分が削られ、図に見られるようなローワーキャニオンが形成されたそうです。こうして溪谷の中に溪谷があるような2段階構造ができたようです。

↓公園内の説明板にあった図



③ どんな植物や動物が見られるの？

公園内ではたくさんの植物や動物を見ることができましたが、ここに全ては書ききれないため、私の中で特に印象的だった植物と動物について紹介したいと思います。



↑アロエ・ガリエペンシス

←アロエ・ディコトマ

どちらもナミビア南部によく見られる多肉植物です。アロエ・ディコトマは、ナミビアで一般的にクイバーツリーと呼ばれていて、クイバーとは矢筒のことです。先住民がこの木で矢筒を作っていたことから、この名がついたそうです。



↑マウンテンゼブラ



(参考) ↑一般的なゼブラ

エトシャ国立公園で見た一般的なゼブラ（右）は、腹部まで縞模様があり、脚に縞模様がありません。フィッシュリバーキャニオンの近くではマウンテンゼブラ（左）という絶滅危惧種のシマウマが生息しています。腹部に縞模様はなく、脚に縞毛様があるのが違います。



【リバーキャニオン ハイキング トレイル】

私は今回、溪谷の中には入らず、上から溪谷を見下ろしただけでしたが、この左の写真のスタートポイントからチェーンをつたって溪谷へ下り、溪谷の中で寝泊りをしながら5日間かけて約80kmある歩くという過酷なアクティビティがあるそうです。挑戦してみたい方は是非…。